

パネルディスカッション：
我々が望む海洋・政策・科学・学際知で挑む2030

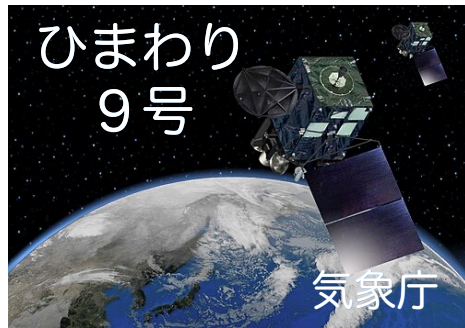
予測できる海とECOPの取り組み



森岡 優志
海洋研究開発機構アプリケーションラボ

海を予測するには？

過去から今を知る



アルゴフロート

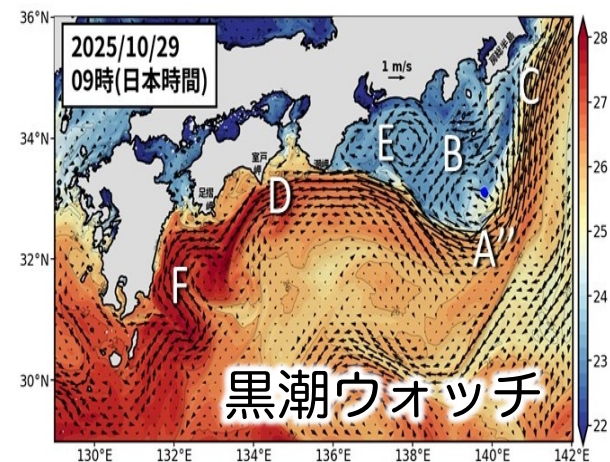
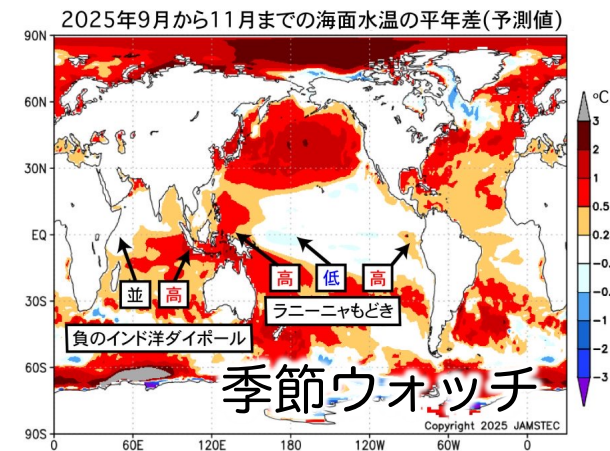


未来を予測する



数式を用いて力学予測
AIで統計予測

社会に発信する



予測できる海の活動と課題

プログラム

特徴

日本が関わるプロジェクト例



科学寄り



観測システムの影響評価
(JMA)



科学とSH

日本から積極的な参加なし



科学とSH

西太平洋と南・東アジアの縁辺海
における海洋予測 (JAMSTEC)



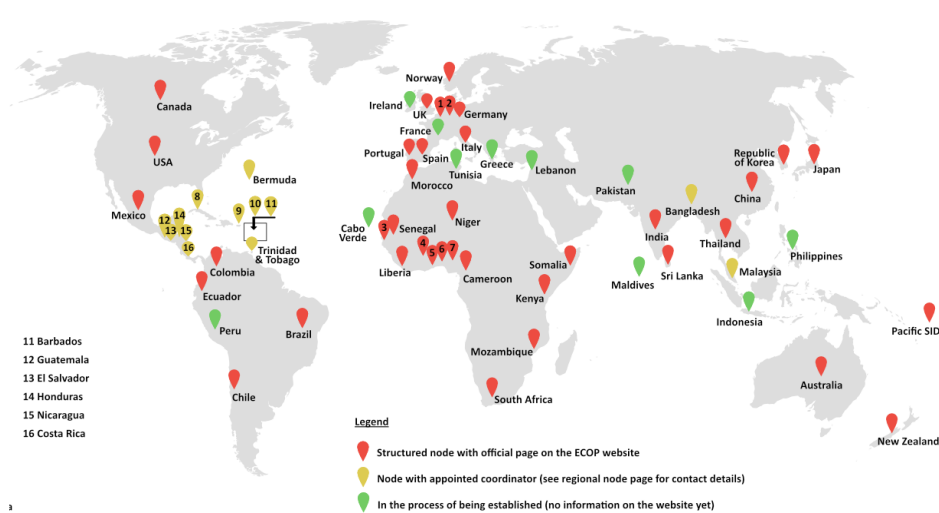
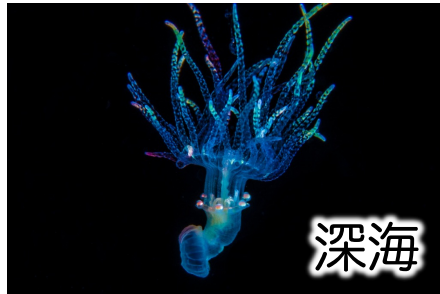
SH寄り

4次元仮想地球と海洋デジタル
ツイン (JAMSTEC)

複数のプログラムが進行中だが、重複や空白域がある

海洋若手専門家(ECOP)プログラム

海洋分野での経験が10年以内の専門家



5年間で168カ国、7960名まで成長

2021 持続可能な開発のための
2030 国連海洋科学の10年
United Nations Decade of Ocean Science
for Sustainable Development



● お申込はこちら
(https://us06web.zoom.us/join/register?WJN_vAvc5GqSjHhOEkRC7DvA)
【主催】ECOP Japan (<https://www.ecopdecade.org/japan/>)
*ECOP Japanは「国連海洋科学の10年」の取組みの一環として
若手海洋専門家の支援や交流の促進を行っています
【問合せ】 ecopjapan.contact@gmail.com

地域や国で活動が増えたが、活動を支える人手と資金不足